

5 / 28 (火) の発表

報道発表資料の配付日時 5 / 28 (火) 15時00分

発表項目	感染性胃腸炎患者の発生について (速報) 腸管出血性大腸菌感染症の発生について (週報)		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	
	月 日 () 時 分～	発表場所	
概要	別紙のとおり ■ 速報 (感染性胃腸炎 (5類感染症) の集団発生について速報するもの) 八雲保健所 保育所 16名 ノロ ……別紙1 ■ 週報 (腸管出血性大腸菌感染症の発生を週単位で公表するもの。) 帯広、釧路保健所 ……別紙2		
参考			

報道 (取材) に当たっての お願い	本公表は、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第16条の規定に基づき、個人情報の保護に留意の上、感染症の発生状況等に関して必要な情報を公表するものです。 つきましては、報道に当たって、個人のプライバシー等の保護のため特段の御配慮をお願いします。		
他のクラブ との関係	(同時配付) 同時レク	(場所)	八雲、帯広、釧路保健所

担当 (連絡先)	保健福祉部健康安全局地域保健課感染症・特定疾患グループ (担当：高橋) 電話 (代表) 011-231-4111 (内線25-506) (ダイヤル) 011-204-5253
-------------	---

感染性胃腸炎患者等の発生について

令和元年(2019年)5月28日(火) 15:00

北海道保健福祉部健康安全局地域保健課

TEL: 011-231-4111 (内線: 25-506)

FAX: 011-232-2013

令和元年(2019年)5月28日(火)、八雲保健所管内の保育所において、感染性胃腸炎患者及びその疑いのある者の発生を確認しました。

記

1 発生の探知

令和元年(2019年)5月27日(月)に、八雲保健所管内の保育所から、園児及び職員がおう吐、下痢などの症状を呈している旨、同保健所に通報があった。

2 発生の概要

八雲保健所管内の保育所の園児15名及び職員1名の計16名が、5月16日(木)から5月27日(月)にかけて、おう吐、下痢、腹痛などの症状を呈し、うち13名が医療機関を受診し、治療を受けた。(入院した者はいない。)

3 現在の状況

5月28日(火)現在、症状は回復もしくは快方に向かっている。

4 経過

5月16日(木)～5月27日(月) おう吐、下痢、腹痛などの有症者発生
 5月16日(木)～5月25日(日) 医療機関において有症者のうち3名の便を検査した結果、3名からノロウイルスを確認
 5月27日(月) 保育所から保健所に通報

5 感染経路

現在調査中

6 対応

八雲保健所では、当該保育所に対し、園児及び職員の健康状況の把握、手洗いの励行及び施設内の消毒、清潔保持等、感染防止対策について指導を行った。

7 その他

この件については、本日15時00分、八雲保健所においても資料配付を行っています。報道に当たっては、個人のプライバシー等の保護のため特段の御配慮をお願いします。

ノロウイルスとは

ノロウイルスとは、世界中に広く分布し、急性胃腸炎の原因の一つとなるウイルスである。ノロウイルスの人への感染は、ウイルスに汚染された飲食物を口にすることや、感染者との接触等による二次感染によって起こり、主に11月から3月に集中して発生するが、一年を通して発生がみられる。

主症状：吐き気、おう吐、腹痛、下痢、発熱(軽度)

潜伏期間：24～48時間

経過・予後：通常3日以内で回復、予後は良好

【道内の集団感染性胃腸炎の発生状況(ロタウイルスを除く)

5月28日(火)現在】

	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
件数(件)	206	210	138	150	179	182	137	82
有症者数(人)	4,987	4,878	3,004	3,631	4,465	4,341	2,849	1,718

*政令市(札幌市を除く)保健所分を含む。

*定点医療機関からの感染性胃腸炎患者報告数については、北海道立衛生研究所北海道感染症情報センターホームページにて公開しています。(http://www.iph.pref.hokkaido.jp/kansen/index.html)

腸管出血性大腸菌感染症の発生について（週報）

令和元年（2019年）5月28日（火）15:00

北海道保健福祉部健康安全局地域保健課
 TEL 011-231-4111(内線:25-506)
 FAX 011-232-2013

令和元年（2019年）21週（5月20日（月）～5月26日（日））に、道立保健所管内で腸管出血性大腸菌感染症（ベロ毒素産生性）が発生したのでお知らせします。

記

1. 発生の概要

保健所	区分	性別等	発症日 及び主な症状	受診日	保健所 確認日	現在の状況	備考
帯広	無症状病原体 保有者 (型不明)	男性 (20歳代)	—	5月18日 (土)	5月20日 (月)	—	—
釧路	無症状病原体 保有者 (O74)	女性 (20歳代)	—	5月21日 (火)	5月21日 (火)	—	—

2. 対応

- ・ 家族等の健康調査及び便検査
- ・ 患者及び家族等の喫食調査
- ・ 家庭等における手洗いの励行及び消毒等の清潔保持の指導

3. その他

この件については、本日15時00分、管轄保健所においても資料配付を行っています。
 <報道に当たっては、個人のプライバシー保護のため、特段の御配慮をお願いします。>

〔参考〕 腸管出血性大腸菌感染者の道内における発生状況（2019年）

5月26日（日）現在

区 分	1	8	25	26	74	91	103	111	115	121	128	136	145	146	148	157	165	不明	合計
患者				1		1	1									11			14
無症状病原体保有者				1	1	6	1				1					1		2	13
計				2	1	7	2				1					12		2	27

(単位：人)

* 政令市（札幌市・函館市・小樽市・旭川市）及び本日発表分を含む。

* 全道の発生状況については、北海道立衛生研究所北海道感染症情報センターホームページにて公開しています。（<http://www.iph.pref.hokkaido.jp/kansen/index.html>）